

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成24年度 病害虫発生予察情報について（送付）

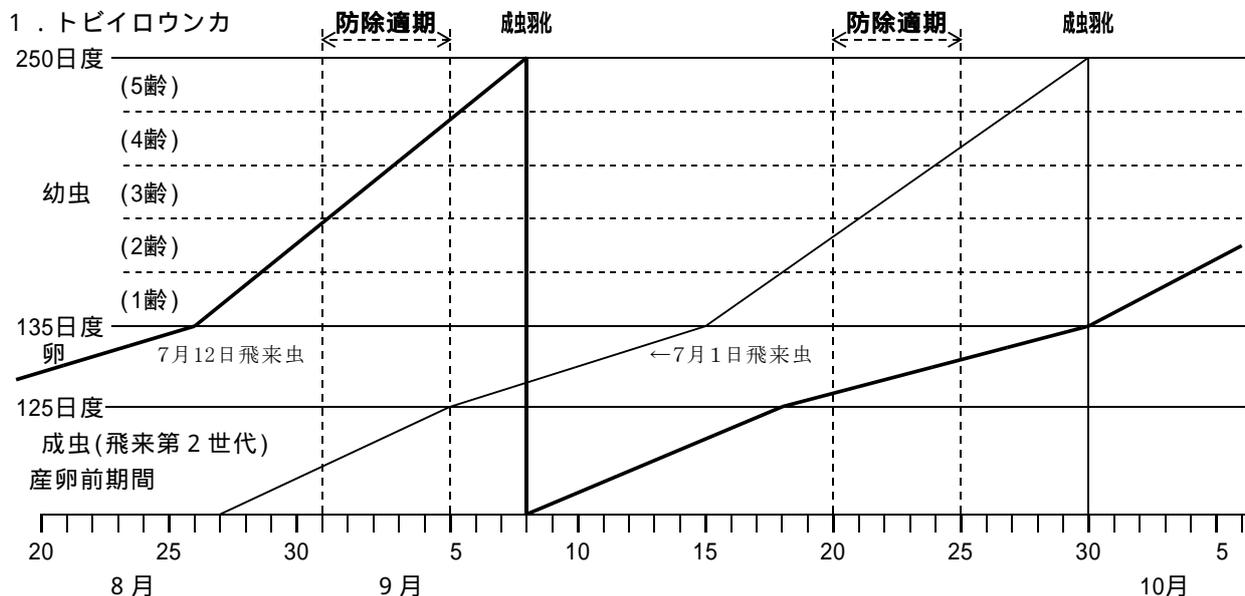
このことについて、発生予察注意報第3号（普通期水稻のトビイロウンカ）を發表します。

病害虫発生予察 注意報第3号

- 1 農作物名 普通期水稻
- 2 病害虫名 トビイロウンカ
- 3 発生地域 県内全域の普通期水稻栽培地帯
- 4 発生量 多
- 5 発生状況及び注意報発令の根拠
 - (1) 本年はトビイロウンカの飛来が多く、これまでに技術情報第5号(7月20日付け)及び注意報第2号(8月8日付け)を發表し、防除を呼びかけてきた。その後、8月17～23日に県内31地点(62ほ場)で行った巡回調査の結果、発生ほ場率が92%と平年や前年(平年27%、前年3%)に比べて非常に高く、成虫や幼虫の発生密度が高いほ場も確認されている(表1)。
 - (2) また、発生ほ場のうち、増殖率の高い短翅型雌成虫の発生ほ場率が68%と高く、次世代虫の多発生が予想され、今後、坪枯れ等の被害発生が懸念される。
 - (3) 向こう1か月の天候予報では、九州南部の気温は高いと予想されており、本虫の増殖に好適な条件が見込まれる(鹿児島地方气象台：8月24日発表)。
- 6 防除対策及び防除上注意すべき事項
 - (1) 7月12日飛来虫に由来する第2世代幼虫の防除(防除適期：8月31日～9月5日)を7月7日飛来虫に由来する第2世代幼虫の防除も兼ねて徹底する。発生が多いほ場では7～10日おきに2回防除を行う。
 - (2) 7月1日飛来虫に由来する第3世代幼虫のふ化期は9月15日以降、防除適期は9月20～25日頃と予想される(別紙参考資料、発育経過予測図を参照)。
 - (3) 発生状況は地域やほ場によって差があるので、防除にあたってはほ場毎に確認する。
 - (4) 中～晩生品種では収穫期まで期間が長く、坪枯れの危険性が高いことから、特に注意する。
 - (5) これまでに防除を行ったほ場でも、依然として発生密度の高いほ場が認められているので、ほ場の中まで入って発生状況を確認し、発生を認めた場合は早急に防除する。
 - (6) 本虫は稲の株元に生息するので、粉剤や液剤を使用する場合は、薬剤が株元に十分届くよう散布する。
 - (7) 薬剤散布にあたっては、農薬の使用基準を遵守し、薬剤の飛散に十分注意する。

(参考資料)

トビイロウンカの有効積算温度による発育経過予測図 (鹿児島地方気象台：加世田のデータを使用)
鹿児島県病害虫防除所 2012年 8月24日 作成



(注) 気温の低い地域では、予測より数日程度遅くなる。

表1 トビイロウンカの発生状況 (調査日：8月17～23日)

地域名	発生ほ場率 (%)		調査ほ場数
	本年	平年	
南薩	100	30	10
北薩平坦	88	26	24
北薩山間	91	27	22
大隅	100	25	6
県計(平均)	92	27	62

平年値は2002年～2011年までの平均

巡回調査地点

南薩：南九州市知覧町永里・川辺町古殿・川辺町勝目
日置市伊集院町大田，いちき串木野市大里

北薩平坦：鹿児島市東佐多町，姶良市蒲生町楠田・姶良町三拾町
霧島市隼人町住吉・国分上小川，薩摩川内市宮崎町・高江町
出水市野田町屋地・高尾野町東干拓，出水市六月田
薩摩川内市入来町浦之名，阿久根市鶴川内

北薩山間：さつま町宮之城平川・宮之城時吉・鶴田大角・中津川，薩摩川内市祁答院町上手
伊佐市菱刈前目・田中，伊佐市大口金波田・大田・山野，湧水町北方

大隅：曾於市末吉町高松・大隅町笠木，鹿屋市野里